

現代国際秩序の行方：世界の視点から

ウクライナ、パレスチナ、ベネズエラ、そしてイラン、
世界では力による秩序変更が多発し、「不確実」な時代に突入している。
今後の国際情勢はどのように展開するのか？
そして日本が採るべき針路は？
学界・メディアで活躍する第一線の研究者達が新たな国際秩序を語る！

開催日時：2026年10月10日(土)14:00~17:00

会場：愛知大学 名古屋キャンパス グローバルコンベンションホール
(名古屋市中村区平池町4-60-6 名古屋駅より徒歩約10分／あおなみ線ささしまライブ駅下車)

定員：300名 ※申込先着順。定員になり次第、受付終了。【お申込み方法】

専用フォームからのオンライン申込み

(お電話・FAXでの受付は行っておりません)

QRコード、または下記URLからお申込みください。

<https://edu.aichi-u.ac.jp/aiaa/event/4407>

参加費：無料【要申込】

申込締切：9月30日(水)

<総合司会> 伊藤 潤 [愛知大学教授]

<開会挨拶> 佐藤 元彦 [愛知大学国際問題研究所 所長]

《パネルディスカッション》

《パネリスト》

溝 渕 正 季 [明治学院大学教授]

小 泉 悠 [東京大学准教授]

合 六 強 [二松学舎大学准教授]

山 崎 周 [東洋大学准教授]

《コーディネーター
& パネリスト》

大 澤 傑 [愛知大学准教授]

<閉会挨拶> 加納 寛 [愛知大学副学長]



申込みQRコード↑



溝 渕 正 季



小 泉 悠



合 六 強

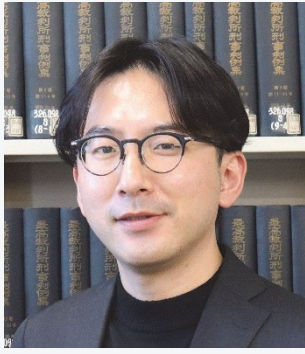


山 崎 周



大 澤 傑

Panelist Profile



溝渕 正季

明治学院大学教授（兼）東京科学大学特任教授。専門は中東地域の政治・軍事・安全保障問題。上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻博士後期課程単位取得退学。博士（地域研究）。ハーバード大学研究員、名古屋商科大学教授、広島大学准教授などを経て、現職。著書に『中東戦争論』（筑摩書房、近刊）、『アメリカの中東戦略とはなにか―石油・戦争・同盟』（慶應義塾大学出版会）など。



小泉 悠

東京大学准教授。専門は安全保障論、国際関係論、ロシア・旧ソ連諸国の軍事・安全保障政策。早稲田大学大学院修士課程を修了後、民間企業、外務省専門分析員、未来工学研究所特別研究員を経て現職。

笹川平和財団特別研究員を兼任。

著書に『軍事大国ロシア―新たな世界戦略と行動原理』（作品社）、『「帝国」ロシアの地政学―「勢力圏」で読むユーラシア戦略』（東京堂出版）など多数。



合六 強

二松学舎大学准教授。専門は米欧関係史、欧州安全保障。慶應義塾大学大学院法学研究科後期博士課程単位取得退学。2022年4月より現職。

2025年～2026年まで在外研究でフランス戦略研究財団（FRS）客員研究員。現在、日本国際問題研究所（JIIA）研究委員も務める。

著書に『ウクライナ戦争とヨーロッパ』（共著、東京大学出版会）、『核共有の現実―NATOの経験と日本』（共著、信山社）、『トランプのアメリカ』（共著、東京大学出版会）などがある。



山崎 周

東洋大学准教授。専門は中国の対外政策とインド太平洋の地域情勢。

青山学院大学国際政治経済学研究科博士後期課程卒。博士（国際政治学）。日本国際問題研究所研究員、青山学院大学総合研究所助手、キヤノングローバル戦略研究所研究員等を経て現職。

著書に「インド太平洋地域主義の限界：中国によるASEAN制度戦略の逆用」『国際政治』第216号（2025年）、「インド太平洋のパックス・アングロ・サクソニカ体制と米中対立：現代中国と戦前日本の対米挑戦及び国際秩序の展望」五十嵐隆幸、大澤傑（編著）『米中対立と国際秩序の行方：交叉する世界と地域』（東信堂、2024年）など。



大澤 傑

愛知大学准教授（兼）東京科学大学特定准教授。専門は権威主義国家の内政と外交。防衛大学校総合安全保障研究科後期課程卒。博士（安全保障学）。防衛大学校特別研究員、駿河台大学助教、愛知学院大学准教授等を経て現職。

著書に『「個人化」する権威主義体制―侵攻決断と体制変動の条件』（明石書店）、『デジタル権威主義―技術が変える独裁の“かたち”』（芙蓉書房出版）（編著）、『米中対立と国際秩序の行方―交叉する世界と地域』（東信堂）（共編著）など。